

令和6年度 学校評価（中間）各評価項目コメント用紙 **南中学校**

大館市学校教育の基本方針		「ふるさとを担う『未来大館市民』を育成する学校教育の深化」				
学校教育目標		「なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成」				
校訓		「すなおに・たたく・はつらつと・たくましく」				
学校経営の重点		「自律と共生～社会へ踏み出す力づくり～」 ◆自律～PDCAを意識しながら、自ら行動する力 ◆共生～違いを理解し、共に支え合って生きていく力				
学校評価項目		評価指標		自己評価 A (中間)	学校運営 協議会評価 (中間)	学校運営協議委員会のコメント
1 学校運営・ 学校管理	教育目標の具現に向けて、教職員がチームとして機能している。積極的・協働的に安全・安心な学校づくりと教育活動が推進されている。それらの学校運営や学校管理に保護者や地域と連携して取り組んでいる。	(1)	運営・管理	概ね良好	概ね良好	・運営状況はよい。全職員の協力で、高い意識で取り組んでいると思われる。熊対策、安全指導などもしっかり行われている。 ・改善案が明確に示されているので、結果に表れることを期待している。特に多くの先生方が課題と感じている「各分掌・担当者間での連絡・調整」の改善策を後期の運営に生かしてほしい。 ・学校報を毎回届けてくれるのがありがたい。内容も見やすく、学校生活や学校行事の様子がよく分かって、読んでいて楽しい。
		(2)	企画・調整			
2 自律の心と健康な体を育む 【徳・体】	生徒が自律した生活習慣を身に付け、多様性を尊重しながら、安心・安全で心身共に健康な学校生活を送っている。	(3)	望ましい集団生活・生活習慣	概ね良好	概ね良好	・「自律と共生」に関しての職員、保護者、生徒の三者のデータに大きなギャップがある。その差をどのように埋めていくかが重要である。 ・心身の健康づくり、特にメディアコントロールについては、内容を具体的に提示し、保護者にも関わってもらって、生徒自身が自分の意思や判断で改善して欲しい。 ・1年生たちが、3年生から「フォーサイト手帳」の使い方を指導してもらってから半年が過ぎ、これからどれくらい自己管理や時間管理ができるようになるか楽しみである。
3 確かで深い学びを育む 【知】	教師と生徒が共に、「直耕タイム」を中心に主体的・協働的な授業を展開している。教師の授業力向上のための研究が推進されている。生徒は基礎学力を身に付け、より深い学びを自ら求めている。	(4)	授業改善	概ね良好	概ね良好	・「直耕タイム」の充実に引き続き取り組んで欲しい。生徒主体の学び合いを更に進め、深化を期待したい。 ・学力向上については、授業の中でしっかりと理解したことを家庭学習で定着させることで、まず基礎・基本が身に付くようにお願いしたい。 ・学習にうまく取り組むことができない生徒を、取りこぼすことなく見て欲しい。力のある生徒たちで、苦手な生徒を引っ張って行ってほしい。
		(5)	学力向上			
4 地域・社会に踏み出す力づくり 【未来】	生徒が地域との交流と連携を通して自己の生き方を見つめ、未来の自分やふるさとの在り方を考えている。未来市民として必要な資質・能力を学校生活や集団生活の中で身に付けようとしている。	(6)	生き方指導	良好	良好	・「チャレンジ55+」は、南中を代表する活動であり、南中のよさでもある。生徒もほぼ全員が達成感をもっている。今後も継続してほしい。 ・「子どもハローワーク」に参加する生徒が昨年度より増えてきていると聞いている。今後更に期待する。 ・運動会、激励会、南中祭などの行事や新しい「しゃべり場」などの活動を通して、役割を果たして人間関係を構築したり達成感を得たりして、成果が見られると感じている。 ・小中一緒に活動できていることもよい。保育所も含め、地域とともに活動できている。地域に根ざしたキャリア教育が非常によくなされているので、これからも続けて欲しい。
		(7)	人間関係形成			